

「宇宙航空研究開発機構 (JAXA) への寄贈」について

1 宇宙航空研究開発機構 (以下「機構」) は、寄贈された博士論文を以下のように取り扱う。

- (1) 東京大学または機構で論文の書誌情報 (標題、抄録、著者名など) を作成する。
- (2) 機構が論文を NASA に提供し (注 1)、NASA 科学技術情報 (STI) データベースを通じて米国内での利用に供される。
- (3) 機構が書誌情報を英文に翻訳し (注 2)、海外宇宙関連機関へ提供する。
- (4) 機構が整備する航空宇宙文献データベース (AIREX) を介して、論文の書誌情報が一般公開され検索利用される。
- (5) AIREX を介して日本国内の科学技術文献交換協力機関および一般からの要望に応じた文献の複写及び提供を機構が行う。(注 3)

(注 1) NASA への論文の提供およびその利用とは、論文とその書誌情報を NASA へ送付し、それらが NASA 科学技術 (STI) データベースを通じて米国内で複写配布されることである。

(注 2) 機構が有用と判断した論文の書誌情報を英訳し、複写および電子データによって無償で提供される。(論文本文の翻訳は機構では行わない)

(注 3) 国内の科学技術文献交換協力機関への複写および電子データの提供は無償で、一般への提供は有償で行われる。

2 寄贈部数について

CD 2部。(PDF ファイルを収録する)

上記を 工 7 号館図書室 (航空宇宙工学) へ提出すること。

3 補足

- ・自分で書誌情報 (標題、抄録、著者名など) の英訳を行う場合は、書誌情報をテキストファイルで作成し、論文の PDF ファイルと共に CD に収録すること。
- ・利用承諾書で公開開始日を指定した場合は、該当日以降に JAXA に送付される。